平成28年 秋号 vol.51

編集・発行：自由民主党・無所属　大阪府議会議員団　http://jimin-osaka.jp
〒540-8570　大阪市中央区大手前2丁目1番22号 TEL (06)6941-0217 FAX (06)6944-2244

自民党・無所属 大阪府議団だより

とみやま勝成（かつなり）議員が府議会で一般質問

冨山勝成議員は、10月6日、府議会の本会議で初の一般質問に立ちました。土砂災害対策の進め方に見解を求め、東大阪市で開催されるラグビーワールドカップ2019への取り組みなどを質問しました。

プロフィール　昭和40年9月6日、東大阪生まれ。東大阪市立石切小学校・石切中学校・日新高校を経て明治東洋医学院鍼灸科　柔整科を卒業。現在、冨山整骨鍼灸院　院長。(株)トミヤマ　代表取締役。平成11年9月東大阪市議会議員初当選以来4期連続当選。平成21年11月第47代東大阪市議会議長就任。平成27年4月府議会議員初当選、商工労働常任委員会委員。

土砂災害及び山地災害対策

[土砂災害対策]対策の進め方を問う ▶ 危険箇所の開示で今後は具体的な取り組みを!

Q. 冨山議員　「大阪府強靭化地域計画」における土砂災害対策の取り組みは、対策の基盤となる土砂災害警戒区域等の指定完了で、府内の危険な箇所が明らかになり、府民へのリスク開示がやっとできた段階だ。今後は具体的に危険な箇所に対してソフト・ハードを連携させた取り組みで、府民の生活の安全・安心をさらに深めていく必要がある。土砂災害対策の進め方への見解はどうか。

A. 都市整備部長　土砂災害に対するリスク公表（府域全域で区域指定完了）を行ったところであり、土砂災害警戒区域は8,345箇所、うち土砂災害特別警戒区域は7,758箇所となった。今後、これらの区域について住宅の立地状況をはじめ、避難所・病院など、地域の特性に応じて有効な対策メニューを平成29年度中にとりまとめ、着実に実施してまいります。

逃げるタイミング発の判断に最新技術を活用すべき
避難行動につながる雨量情報

Q. 冨山議員　私の地元東大阪市では独自に雨量計、河川・急傾斜地監視カメラの設置、リアルタイムな雨量観測など市として出来る限りの取り組みを行っているが、防災情報収集の限界も感じる。地域ごとに住民が逃げるタイミングを判断できるよう、きめ細やかな雨量情報を知ることは非常に大切であり、急激な気象状況の変化に対応する最新の技術を活用すべきである。

A. 都市整備部長　気象レーダーによる観測の技術は日進月歩で技術革新が進んでいる。最新技術の活用方法について気象庁などと協議を進めており、大阪府土砂災害対策審議会での意見も踏まえ、検討を進めてまいります。

土石流等から守るためには事業の連携が重要
山地災害対策

Q. 冨山議員　山地災害対策において、土石流の発生の抑止を目的とした治山事業と災害発生時の被害を抑える砂防事業は、土石流等から守るという意味で目的が同じであり、連携、調整を図っていくべき。山地災害対策を進めるに当たり、都市整備部としっかりと連携しながら進めることが重要と考える。

A. 環境農林水産部長　山地災害対策を実施するには、砂防事業との連携が重要と認識している。毎年、砂防・治山連絡調整会議を開催し、都市整備部と綿密に情報共有を行い、調整を行ってきた。今後とも、連携を強化し山地災害対策を進めてまいります。

東大阪市選出

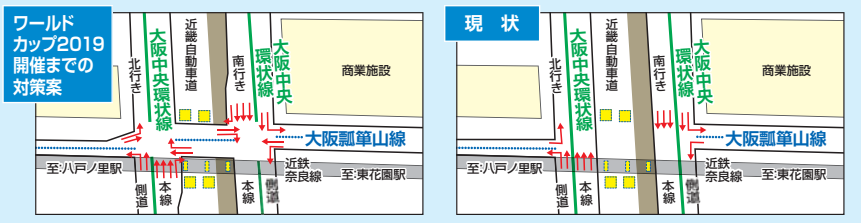
ラグビーワールドカップ2019

ラグビーワールドカップ開催までに改良の実施を!

大阪瓢箪山線と大阪中央環状線の交差点について

Q. 冨山議員　現在、都市計画道路大阪瓢箪山線の整備が進められているが、東西方向の大阪瓢箪山線と南北に走る大阪中央環状線の交差点について大阪瓢箪山線が近畿自動車道などで遮断されていることから、東西方向に通行できない状況となっている。大阪瓢箪山の東西方向の通行に向けた、大阪中央環状線との交差点改良の検討状況について、伺う。

A. 都市整備部長　大阪中央環状線との交差点については、東西方向の通行を可能にすることが望ましいと考えており、具体的案（東西方向の車線や右折レーンの新設など）を警察や東大阪と協議を重ねている。ラグビーワールドカップ開催までに通行確保ができるよう、積極的に取り組んでいく。



大阪府としての取り組み

Q. 冨山議員　東大阪市はスタジアムの改修設備費に大きな負担をしているが、共同で行う大会準備や運営費用以外に、大会開催に向けて大阪府としての取り組みが必要ではないか。

A. 府民文化部長　スタジアムの改修設備については、国に対して、財政支援の要望を共同で行うなど東大阪市の支援に取り組んでいるところ。大会運営を支援する事業として「ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会」を立ち上げた。

大阪モノレール（仮称）瓜生堂駅の計画等

Q. 冨山議員　現在終点となっている門真市駅から、主に府道大阪中央環状線内を南下し、近鉄奈良線までの延長約9kmの事業化について伺う。

A. 都市整備部長　瓜生堂駅は、大阪モノレールと近鉄の新駅を一体的に設置するもので、3階にモノレール、2階に近鉄のホームを設置する構造で計画しております。